

準天頂衛星に関するプロジェクトチーム 第3回会合（議事要旨）

1. 日時 平成 22 年 11 月 12 日（金） 8:00～9:00

2. 場所 中央合同庁舎第 4 号館 1 階 共用 108 会議室

3. 出席者 内閣府大臣政務官(宇宙開発担当) 和田 隆志(座長)
内閣府大臣政務官(防災担当) 阿久津 幸彦
総務大臣政務官 森田 高
文部科学大臣政務官 林 久美子
農林水産大臣政務官 松木 けんこう
経済産業大臣政務官 田嶋 要
国土交通大臣政務官 津川 祥吾
防衛大臣政務官 松本 大輔

4. 議事概要

(1) 開会

開会にあたり、和田内閣府大臣政務官より挨拶。

(2) 我が国の測位衛星システムに関する論点整理と検討の進め方について

資料2及び資料3により事務局から説明が行われ、両資料とも了承された。主なコメントは以下のとおり。

- 国際展開の在り方(ODA の活用等)について、外務省にも論点を提示すべきである。
- 資料2に示す想定されるケース毎に、コスト及び提供可能なサービスを組み合わせ、評価を行いやすいように整理すべきである。
- コスト低減化の観点から、測位衛星システムを構成する静止衛星については、国の他のミッションとの相乗りの可能性を検討すべきである。
- 広い意味での安全保障上の観点から、GPSのみに依存するリスクについて、当プロジェクトチームで十分に議論すべきである。
- 本プロジェクトの経緯を踏まえつつ、民間のニーズや、官民の費用分担についてもよく議論を行うべきである。
- 当プロジェクトチームでの検討に際しては、各省庁の所掌の枠を越えた立場で議論を進めるべきである。

以上